

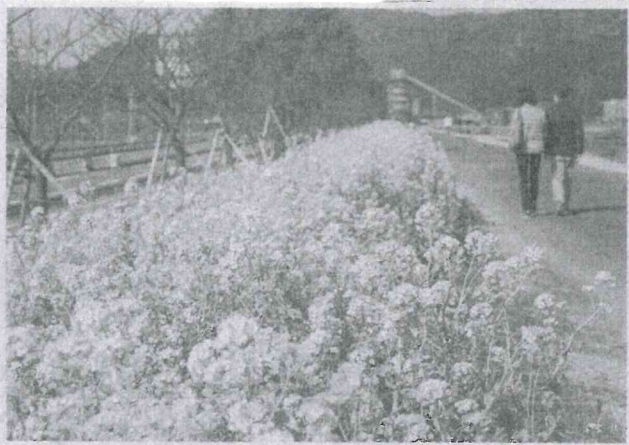
春立 コノハナロード 彩る花

あす菜の花見頃、河津桜ちらほら

延岡

あすは二十四節氣の一え、家族連れなどが春のつ立春。今年は一昨年ぶりに例年より一日早く曆の上では春が始まる。冬の厳しい寒さも峠を越え、春の氣配が漂う和やかな風景が広がり始めた。

延岡市野地町の五ヶ瀬川右岸堤防（コノハナロード）では、約100万本の菜の花が見頃を迎



五ヶ瀬川右岸堤防に鮮やかに咲き誇る菜の花（1日、延岡市野地町）

え、松田理事長が春の訪れを告げる黄色の花を楽しんでる。菜の花を整備しているのは、同市のNPO法人「コノハナロード延岡市民応援隊」

（松田理事長）が昨年11月に種まきを行い、その後も水やりや草取り、害虫駆除など丹精してきた。毎年、美しく咲き誇る菜の花が、訪

れる人を出迎えている。堤防沿いには、約300本の天下一ひむか桜（河津桜）も植えられており、ちらほらとピンクの花を付け始めた。

松田理事長は「コロナ禍で厳しい日が続いているが、感染防止対策をして菜の花を楽しんでほしい。桜の開花も早まりそうなので、2月中旬には見頃になるのでは」と話した。



ちらほらとピンクの花が咲き始めた天下一ひむか桜（1日、延岡市野地町）

例年は2月から4月にかけて早春の花々を楽しむ観光イベント「延岡花物語」が開催されるが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止ため中止が決定。同堤防周辺での「このはなウォーク」のほか、延岡市松山町で「本東寺慧日（えいち）梅観梅会」、延岡城山公園で「ワイワイグルメ博」などが行われる予定だった。

無病息災、水行で願う

岡

本東寺 星祭り大祈禱会 延

節分のきょう、延岡 田海心住職で「星祭
市松山町の本東寺（吉 大祈禱（きょう）会



勢いよく水をかぶる5人の修法師（きょう午前、延岡市松山町の本東寺）

が行われ、水行や祈禱で参拝者の無病息災、開運招福を祈った。今年には新型コロナウイルス感染症防止のため、恒例の豆まきや接待は中止した。

日差しがぬくもりを感じる穏やかな冬空の下、午前10時から本堂前の境内で水行が始まった。檀（だん）信徒がうちわ太鼓を鳴らし「南無妙法蓮華經」を唱える中、吉田静正副住職ら修法師5人が

登場。ふんごし姿で「水行肝文（かんもん）」の経を唱えながら、たるの中の水をおけてすくい、勢いよく頭からかぶった。

また、3日の立春を前に、境内の誓日梅（えにちばい）の白い花が一斉に開き、ほほ満開となつて参拝者を出迎えた。